

蠟梅 Now

平成 30 年の年末から穏やかに時は移り、平成最後の 31 年の年始を迎えた。恒例の今年の漢字には、「災」が選ばれ、清水寺の貫主が揮毫した。

29 年 10 月に発覚した神戸製鋼所の品質管理データ改竄問題から、芋蔓式に著名企業の不正行為が明るみに出た。不正を招いた製造業の病理の一つに、不正品に対する「安全基準」が挙げられる。連綿と続いた不正行為の背景には、僅かに仕様を外れた場合は問題ないとし、ここからは危険とする判断基準が自ずと設定されていた為に、重大な問題に発展することがなかったとするものである。未必の故意と言えなくもない、人災と断ずる。

一方、自然災害も殊の外多く発生した年であった。順を追って、北陸の豪雪、大阪府北部地震、西日本の豪雨、統計史上最大の猛暑、大型台風の襲来、北海道東部地震など、枚挙に暇がない程であった。

スポーツの世界で明るいニュースが多かったのが、せめてもの慰めかもしれない。平昌冬季五輪のメダルラッシュ、大谷翔平の大リーグ新人王、大坂なおみの全米オープン制覇など、加えて本庶佑のノーベル生理学・医学賞受賞。

悲喜交々、自然の摂理に従った流れとして無為無策に揺蕩うのも一興か。

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、年末から年始にかけて穏やかな天候が続いたこともあって、1 月初旬には開花したようである。

04 年に法人を立ち上げた折、記念に植樹したもののだが、土壌改良をしてお膳立てをしたものの、その後も樹に捗々しい成長が見られず加えて、爛漫とは言えない開花状況にも変化が見られず、一抹の寂しさが残り続けた。が、

花の少ない時期に、まるで蠟細工のような、可憐だが芳香を放つ黄色い花を、ひっそりと咲かせる蠟梅。寂しげな佇まいが却って、得も言われぬ郷愁を唆って止まない。

11 年 11 月誕生した実生による二世の一株は、生誕の地西神から筆者宅に移植したものの、力及ばず儂く消えてしまった。別の株を貰い受けるのに、二の舞を踏まぬよう頃合いを見計らっているところ。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸

事務局長 大森 信

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>